

科目名称	老年看護各論	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期		30
担当教員	森 万純 ・ 池田 絵里	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

高齢者を身体的・精神的・社会的に捉え、高齢者の暮らしを支えるために必要とされる知識・技術・態度について学び、必要な看護を実践する能力を養う。

【2】 学習目標

1. 高齢者の暮らしを支える日常生活援助の考え方と実際について理解できる。
2. 高齢者の安全を守るための看護と緊急時(災害時含む)の対応について理解できる。
3. 検査・治療を受ける高齢者の看護について理解できる。
4. 認知症とその援助方法について理解できる。
5. 高齢者に多い疾患と看護について理解できる。
6. 高齢者がその人らしく生きることについて様々な視点から考えることができる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
 - 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
 - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
 - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
- 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
 - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
- 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
 - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	高齢者の暮らしを支える日常生活援助の考え方と実際	講義
2		
3		
4		
5		
6	高齢者の安全をまもるための看護と緊急時(災害時含む)の対応	講義
7	検査・治療を受ける高齢者の看護	講義
8	認知症・うつ状態の理解と看護	講義
9		
10		
11	高齢者に多い疾患と看護	講義
12		
13		
14		
15	筆記試験(45分) まとめ(45分)	

【5】 評価方法

1. 筆記試験

【6】 教科書

小池 妙子 他著「看護学入門11 老年看護」第5版 メヂカルフレンド社 2024年

【7】 参考書

参考書は指定しない。

【8】受講生へのメッセージ